

平成23年度高齢者虐待の状況について

〔平成24年8月17日〕
高齢者支援課

1 趣旨

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（H18.4.1施行）」（以下「法」という。）第25条の規定に基づき、市町からの報告を受け県内の平成23年度の状況の取りまとめを行った。

2 市町からの報告の概要

市町の役割は、高齢者虐待の相談を受け、関係機関等と調整を行った上で、虐待を受けた高齢者への対応及び虐待を行った者への指導・助言を行う。また、その虐待の内容等を県に報告する。

<集計の概要>

対象者：県内在住の65歳以上の高齢者

対象期間：平成23年4月～平成24年3月

内容：施設内虐待（養介護施設従事者等による高齢者虐待）、家庭内虐待（養護者による高齢者虐待）の区分ごとの件数及びその内容等

3 集計結果の概要（詳細は「2ページ」参照）

(1) 施設内虐待

① 件数…12件〔H18年度：2件，H19年度：2件，H20年度：0件，H21年度：3件，H22年度：3件〕

② 概要…虐待のあった施設は、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）等で、虐待の内容は身体的虐待が最も多く、次いで心理的虐待、世話の放棄・放任の順となっている。

③ 対応…市町が事実確認及び施設に対する指導を行い、施設から改善計画が提出されるなど、状況は改善されている。

(2) 家庭内虐待

① 件数…408件

〔H18年度：351件，H19年度：352件，H20年度：445件，H21年度：382件，H22年度：436件〕

② 概要…虐待を受けた人は、女性が77%、年齢は75歳以上が80%、要介護認定を受けている人が75%、虐待の内容は、身体的虐待、心理的虐待、介護放棄、経済的虐待、性的虐待の順で多い。また、虐待をした人の続柄は、息子が最も多く、次いで娘、夫の順となっている。

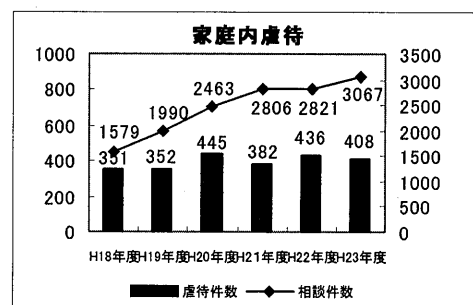
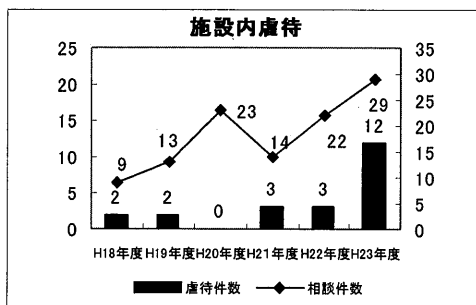
③ 対応…「虐待者からの分離を行った事例」が26%で、その内訳は「契約による介護保険サービスの利用（41%）」、次いで「医療機関への一時入院（26%）」の順であった。

「虐待者を分離していない事例」は53%で、その内訳は、「養護者への助言・指導（92件）」次いで「見守り（経過観察を含む）（65件）」となっている。

(3) 前年度との比較

ア 施設内虐待…虐待件数、相談件数ともに増加した。

イ 家庭内虐待…虐待件数は減少したが、相談件数は増加した。虐待内容では介護放棄が96件から111件に増加し、また分離の対応方法としては、介護保険サービス利用の割合が34%から41%に増加した。



4 県の取組

市町及び関係機関と連携して、次の取組を引き続き推進していく。

- 法の趣旨や通報義務等の定着を図るため、パンフレットを作成するなど県民・市町・事業所等への普及啓発を推進する。
- 相談窓口等について県民に広報し、虐待発生の防止と虐待発見時の速やかな通報の確保を図る。また、複雑困難な事例については、広島県地域包括ケア推進センターによる助言・支援を行う。
- 市町や地域包括支援センター、施設職員等を対象にした研修等を実施する。
- 経済的虐待防止の観点から、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の活用も視野に入れた高齢者の権利擁護を図る。
- 認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する「認知症サポーター」を養成するなど、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進する。

施設内の高齢者虐待の状況（公表義務あり）

<虐待を受けた人の状況>

性別	男性	11人
	女性	8人
年齢階層	65～69歳	1人
	75～79歳	3人
	80～84歳	5人
	85～89歳	2人
	90～94歳	4人
	95～99歳	4人
要介護度	要介護1	2人
	要介護2	4人
	要介護3	8人
	要介護4	4人
	要介護5	1人
心身の状況	認知症	18人

<市町がとった措置>

事実確認	12件
施設等に対する指導	12件
施設等からの改善計画の提出(依頼)	12件

虐待と確認できた件数 12件
(相談・通報・届出延べ件数 29件)

<虐待の内容>

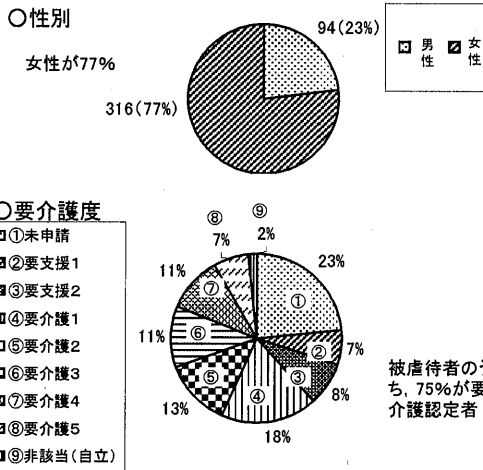
身体的虐待	13件
心理的虐待	7件
世話の放棄・放任(ネグレクト)	2件
性的虐待	0件
経済的虐待	0件

<虐待をした人の状況>

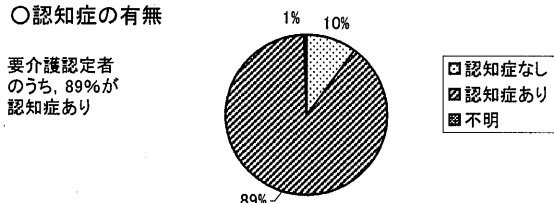
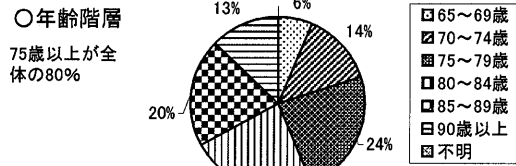
虐待があつた施設等	特別養護老人ホーム	3件
	介護老人保健施設	2件
	通所介護	1件
	短期入所	1件
	認知症対応型共同生活介護	4件
虐待をした人	小規模多機能型居宅介護	1件
	管理者	1人
	介護職員	15人

家庭内の高齢者虐待の状況（公表義務なし）

<虐待を受けた人の状況>

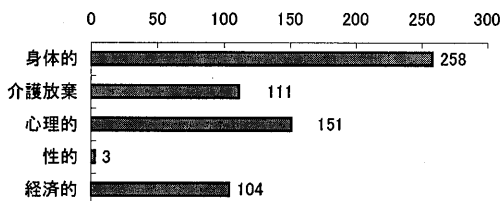


虐待と確認できた件数 408件
(相談・通報・届出延べ件数 3,067件)

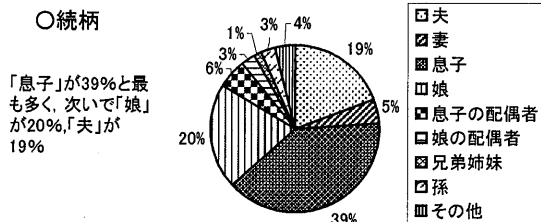


※要介護認定者(307人)のうち、認知症日常生活自立度Ⅰ以上の方が占める割合

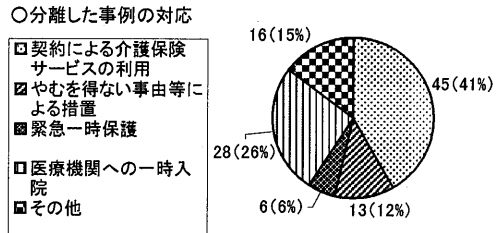
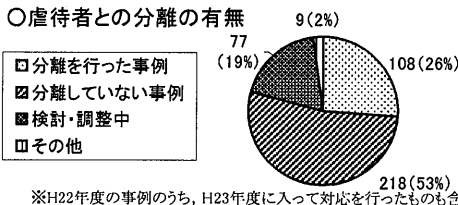
<虐待の内容> (重複あり)



<虐待をした人の状況>



<虐待への対応策>



○分離しなかった事例の対応(重複あり)

